

資料 1. 医療機関における性暴力被害者への支援についてのアンケート調査

医師の皆様

2022 年 12 月

医療機関における性暴力被害者への支援についてのアンケート調査へのご協力をお願い

我が国においては 2020 年に「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」が決定され、切れ目のない手厚い被害者支援を確立するために、病院など地域における関係機関との連携強化を推進しています。しかし、医師に対し性暴力被害者の支援について教育の機会はありません。さらにわが国において子ども、男性、トランスジェンダーなど性的マイノリティの被害者への泌尿器科、外科、小児科等での診察等対応方法は一部の医療機関を除いて確立されていません。

本調査は、医師の皆様を対象に、全国の医療機関における DV・性暴力被害をうけた被害者に対する支援の現状を明らかにし、具体的な対応マニュアルを作成することを目的としています。

本調査はオンラインもしくは郵送のアンケート調査で、**2022 年 12 月 10 日より 2023 年 1 月 20 日まで**配信します。本調査結果は数量化してまとめ、個人や機関が特定されることはありません。学会等で発表し、対応マニュアル作成に役立て、目的以外には使用しません。また本研究は、厚生労働科学研究費補助金「DV・性暴力被害者の医療と連携した支援体制の構築のための研究」（令和 4～6 年度、研究代表者：島根大学 河野美江、研究分担者：島根大学 和田耕一郎、広島大学 北仲千里）を受けて実施し、島根大学医学部医学研究倫理委員会で承認され、研究機関の長の許可を得ています。

この説明文書をお読みにになり、研究の内容を理解しアンケートに回答いただける場合は、

「**アンケートの回答に同意します**」の「はい」をお選びいただき、アンケートにご回答ください。「いいえ」を選ばれ、アンケートに回答されなくても、そのことによって不利益を受けることはありません。アンケートに記名され、回答後に撤回を希望される場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。ただし、解析・結果公表後のデータ削除はできません。

ご不明な点がございましたら、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先：島根大学医学部泌尿器科 和田耕一郎（研究責任者）

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1 TEL: 0853-20-2256

E-mail: wada@med.shimane-u.ac.jp

調査回答〆切 1 月 20 日まで

アンケートの回答に同意します

☐ はい

☐ いいえ

はいと答えられた方は、以下のあてはまる選択肢に○をつけてください

1. あなたの年齢をお答えください

- a. 20 歳代 b. 30 歳代 c. 40 歳代 d. 50 歳代 e. 60 歳代 f. 70 歳以上

2. あなたの性別をお答えください

- a. 男 b. 女 c. 答えたくない d. その他 ()

3. 医師としての診療経験年数をお答えください

- a. 1～5 年 b. 6～10 年 c. 11～15 年 d. 16～20 年 e. 21 年以上

4. あなたの所属する施設についてお答えください。

※複数のご所属がおありの場合は、主たるご所属についてお答えください

- a. 大学病院 b. 公立・公的医療機関（救急指定あり） c. 公立・公的医療機関（救急指定なし）
d. 民間病院 e. 診療所 f. その他 ()

5. あなたの所属する施設のベッド数についてお答えください。

※複数のご所属がおありの場合は、主たるご所属についてお答えください

- a. なし b. 1～19 c. 20～49 d. 50～99 e. 100～199 f. 200～499 g. 500 以上

6. よろしければ施設の所在地の都道府県を教えてください

()

7. あなたの診療科をお答えください

※複数のご所属がおありの場合は、主たるご所属についてお答えください

- a. 内科 b. 外科 c. 小児科 d. 産婦人科 e. 泌尿器科 f. 救急科
g. 小児外科 h. その他 ()

全員にお聞きします

8. 性暴力とは、「同意のない・対等でない強要された性的な行為」と定義されていることをご存じですか？

- a. はい b. いいえ

9. 性暴力全般について、これまでに聞きする機会がありましたか？

- a. はい b. いいえ

問9で「はい」と答えられた方にお聞きします

10. どのような機会に見聞きましたか？（複数選択可）

- a. マスメディア（テレビや新聞） b. インターネット c. 雑誌・本 d. 高校までの授業
e. 大学(医学部医学科以外)・短大・専門学校での講義 f. 医学部医学科での講義
g. 市民公開講座 h. 学会等での講演 i. その他（ ）

問9で「はい」と答えられた方にお聞きします

11. それはどのような内容でしたか

全員にお聞きします

12. 各都道府県に設置されている性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター（以下ワンストップ支援センター）をご存じですか？

- a. ワンストップ支援センターの被害者支援にかかわっている
b. ワンストップ支援センターがあることを知っているが支援にはかかわっていない
c. ワンストップ支援センターを知らない
d. その他 ()

問 12 で b, c, d と答えられた方にお聞きします

13. ワンストップ支援センターの支援内容をご存じですか

- a. はい b. いいえ c. どちらともいえない

全員にお聞きします

14. 性暴力被害者が相談や助けを求めに訪れる可能性が高い施設はどこだと思いますか？（複数選択可）

- a. 医療機関 b. 学校 c. 職場 d. ワンストップ支援センター e. 警察署
f. 法律相談所 g. 婦人相談所など女性のための相談機関 h. 市町村の窓口
i. コンビニなどの商店 j. その他（ ）

全員にお聞きします

15. 2017 年に「強姦罪」は「強制性交等罪」に名称が変更されるなど刑法が改正されたことをご存じですか？

- a. はい b. いいえ

2017年の刑法改正では、肛門性交や口腔性交も罪に問われることとなり、法定刑が重くなり、女性以外も被害者に、男性以外も加害者となり得るようになりました。

男性、子ども、トランスジェンダーなどの性的マイノリティの性暴力被害者についてお聞きします。 ※このアンケートでは、子どもとは 15 歳未満とします

16. 子どもの性暴力被害について、これまでに学ぶ機会がありましたか

- a. はい b. いいえ

問 16 で a「はい」 と答えられた方にお聞きします

17. どのような機会学びましたか？（複数選択可）

- a. マスメディア（テレビや新聞） b. インターネット c. 雑誌・本 d. 高校までの授業
e. 大学(医学部医学科以外)・短大・専門学校での講義 f. 医学部医学科での講義
g. 市民公開講座 h. 学会等での講演 i. その他（ ）

全員にお聞きします

18. 男性の性暴力被害について、これまでに学ぶ機会がありましたか？

- a. はい b. いいえ

問 18 で a「はい」 と答えられた方にお聞きします

19. どのような機会学びましたか？（複数選択可）

- a. マスメディア（テレビや新聞） b. インターネット c. 雑誌・本 d. 高校までの授業
e. 大学(医学部医学科以外)・短大・専門学校での講義 f. 医学部医学科での講義
g. 市民公開講座 h. 学会等での講演 i. その他（ ）

全員にお聞きします

20. トランスジェンダーなどの性的マイノリティの性暴力被害について、これまでに学ぶ機会がありましたか？

- a. はい b. いいえ

問 20 で a 「はい」 と答えられた方にお聞きします

21. どのような機会学びましたか？（複数選択可）

- a. マスメディア（テレビや新聞） b. インターネット c. 雑誌・本 d. 高校までの授業
e. 大学(医学部医学科以外)・短大・専門学校での講義 f. 医学部医学科での講義
g. 市民公開講座 h. 学会等での講演 i. その他（ ）

a. はい b. いいえ c. わからない

a. はい b. いいえ c. わからない

a. はい b. いいえ c. わからない

a. 医療機関（診療科） b. 学校 c. ワンストップ支援センター
d. 児童相談所 e. 警察署 f. 法律事務所 g. その他（ ）

a. 医療機関（診療科) b. ワンストップ支援センター c. 警察署
d. 法律事務所 e. その他（)

a. 医療機関（診療科 ） b. ワンストップ支援センター c. 警察署
d. 法律事務所 e. その他（ ）

a. 問診 b. 全身の身体診察 c. 証拠採取 d. 性感染症の検査と治療 e. 薬物の証明
f. 緊急避妊・中絶など妊娠への対応（妊娠可能年齢の場合） g. 相談支援機関の紹介
h. 警察への通報 i. 警察への被害届提出など司法対応の支援 j. カウンセリング
k. 家族への対応 l. その他（ ）

a. 問診 b. 全身の身体診察 c. 証拠採取 d. 性感染症の検査と治療 e. 薬物の証明
f. 相談支援機関の紹介 g. 警察への被害届提出など司法対応の支援 h. カウンセリング
i. 家族への対応 j. その他（ ）

a. 問診 b. 全身の身体診察 c. 証拠採取 d. 性感染症の検査と治療 e. 薬物の証明
f. 緊急避妊・中絶など妊娠への対応（FtMなどで妊娠可能な場合） g. 相談支援機関の紹介
h. 警察への被害届提出など司法対応の支援 i. カウンセリング j. 家族への対応
k. その他（ ）

- a. 外傷や性感染症など健康被害の診断治療へのアクセス
- b. 証拠採取・薬物の証明など性犯罪捜査に関する医療へのアクセス
- c. 警察への同行支援など被害届提出や裁判対応への支援
- d. ワンストップ支援センター等相談支援機関との連携
- e. カウンセリング・心理治療へのアクセス
- f. 報道での二次被害への対応
- g. 家族への対応やケア
- h. 学校や職場での対応支援
- i. その他（ ）

36. 性暴力や被害者支援策などに関して、疑問やお考えを何でもご記入ください

[]

37. 過去に、**子ども**の性暴力被害者に接したことはありますか？

- a. はい b. いいえ c. おぼえていない d. 答えたくない

問37で a「はい」と答えられた方にお聞きします

38. これまで診察された**子ども**の性暴力被害者はおよそ何件ですか

() 件

全員にお聞きします

39. 過去に、**男性**の性暴力被害者に接したことはありますか？

- a. はい b. いいえ c. おぼえていない d. 答えたくない

問39で a「はい」と答えられた方にお聞きします

40. これまで診察された**男性**の性暴力被害者はおよそ何件ですか

() 件

問39で a「はい」と答えられた方にお聞きします

41. 被害者が**男性同性愛者**または**男性バイセクシュアル**で、**男性加害者**からの性暴力はおよそ何件ですか

() 件

問39で a「はい」と答えられた方にお聞きします

42. 被害者が**男性同性愛者**または**男性バイセクシュアル**で、**女性加害者**からの性暴力はおよそ何件ですか

() 件

問39で a「はい」と答えられた方にお聞きします

43. 被害者が**男性異性愛者**で、**男性加害者**からの性暴力はおよそ何件ですか

() 件

問39で a「はい」と答えられた方にお聞きします

44. 被害者が**男性異性愛者**で、**女性加害者**からの性暴力はおよそ何件ですか

() 件

全員にお聞きします

45. 過去に、トランスジェンダーなど性的マイノリティの性暴力被害者に接したことはありますか？

- a. はい b. いいえ c. おぼえていない d. 答えたくない

問 45 で a「はい」と答えられた方にお聞きします

46. これまで診察されたトランスジェンダーなど性的マイノリティの性暴力被害者はおよそ何件ですか

() 件

全員にお聞きします

私たちは、我が国の医療機関における子ども、男性、トランスジェンダーなどの性的マイノリティへの対応の実態を明らかにするために、症例別の診療内容などを調べています。

47. 子ども、男性、トランスジェンダーなどの性的マイノリティの性暴力被害者の診療経験のある先生方をお願いします。症例別の調査票に回答を頂くことは可能ですか？

(お答えいただいた方には、負担軽減費として 3,000 円の Quo カードをお送りします)

- a. はい b. いいえ

48. 「はい」とお答えいただいた先生で、オンラインでご回答を希望の方はメールアドレスを、郵送をご希望の方は住所氏名をご記入ください

たくさんの質問にご回答いただき、ありがとうございました。
先生からいただいた意見を大切にいたします。